

産業能率大学 情報マネジメント学部

ビジュアルデータで表現力を養う	履修年次	1	
	単位	2	
勝間 豊	配当期	後	
	授業方法	演習 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業では主なツールとしてExcelを利用する。情報リテラシーと情報活用演習で学習した知識と技術を基礎とし、データの活用を学習する授業となる。授業では、単に表やグラフを作成するだけでなく、それらを分析し、情報を正確に読み取り、他者に伝えるための表現力をつける演習を主とする。そのため、授業はExcelの利用技術だけを学ぶのではなく、読み取った情報を文章にし、プレゼンして他者に分かるように説明する能力を身に付けて行く。</p> <p>また、後半の総合演習はグループワークを中心とした協同学習に取り組む。その際には、個々のPCのExcelだけではなく、Office365の機能であるExcelも使用し、協同して問題演習に取り組む方法についても挑戦する。企業活動と同様に、分析結果について相互に解釈しながら意見を出し合い、最終的な解答を確定する過程を学習する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・活用事例や演習課題を通じて、データの視覚化技法を身に付けることの重要性について説明することができる。 ・データの視覚化を実行する際に必要な視点やルールなどの基礎知識を体系的に理解し、様々な場面で活用することができる。 ・データの扱い方やそのプロセスを学ぶことにより、ビジネスの変化や方向性について説明することができる。 			
成績評価の方法			
全授業への出席を前提とする。毎回の授業内容に関して講義とExcelによる演習をおこない、その結果を評価したうえで定期試験、課題提出、授業外学習、授業参画を総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンスデータの取り込み	8	グラフのまとめ
2	表の作成(基礎)	9	分析シミュレーション
3	表の作成(応用)	10	総合演習 1-①
4	複雑な表の作成表のまとめ	11	総合演習 1-②
5	グラフの作成(基礎)	12	総合演習 2-①
6	グラフの読み方(基礎)	13	総合課題 2-②
7	グラフの作成(応用)	14	総合課題の発表と相互評価